

授業科目名	剣道		授業形態	実技		授業科目区分		専門科目 (関連実技科目)	
担当教員名	前阪 茂樹・竹中 健太郎・下川 美佳					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		30名程度	
授業の概要	本科目は、武道／剣道に関する基礎的な実技力を身につける科目である。 剣道の特性を理解して礼法や基本動作、対人的技能などの基礎的な技術について学ぶことを目的とする。さらに自己の能力に応じた技の攻防を工夫し学習したり、剣道を通じて適正かつ柔軟な思考や行動力、礼節を重んじて相手や仲間と協調して自らの課題解決に取り組む姿勢を学ぶ効果を期待する。 特に学習内容については、中学校、高等学校保健体育「武道」領域で取り扱う内容に準拠して行なう。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法				定期 試験	その他	割合 %
			授業期間						
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	授業で学び且つ予・復習で得た剣道の基本的事項をノート（レポート）にまとめることができる。	○		○				10
	■情意的領域	剣道に関する初歩的な実技力を身につけようとする積極的な取り組み・態度が窺える。	○						30
■技能的領域	正しい着装具、礼儀作法、足さばきや素振りなどの基本動作と基本打突ができるようになる。	○				○		60	
成績評価の基準	上記の評価の方法、具体的には授業に対して積極的に取り組む姿勢、施設・用具の適正な使用状況、授業ノートの提出、及び剣道実技の習熟度・理解度などを判断・評価し、60点以上を合格とする。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト・教材は適宜配付する。 参考書：全日本剣道連盟「剣道指導要領」								
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッセージ含む)		体育教員を志す者は是非受講して下さい。 尚、剣道具類は各自で準備して下さい。 また、初心者で準備できない者は剣道着、袴、剣道具については貸出可能です。但し、竹刀と手拭い（面下）については別途購入が必要です。				
オフィス・アワー	授業終了直後の30分間、武道館剣道教員室において連絡・相談事項を受け付ける。								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	前阪 茂樹 竹中 健太郎 下川 美佳	オリエンテーション～剣道の歴史と特性～ 剣道着・袴の割り振り、着装及び管理方法							
2	〃	1. 礼法の実践と基本動作の習得 (1) 着装、立礼、正座、座礼 (2) 姿勢、構え、蹲踞、目付、足（体）捌き、掛け声、素振り (3) 切り返し				4回目までの内容の習得を到達目標として予習復習を行う。			
3	〃	〃				〃			
4	〃	〃				〃			
5	〃	2. 応用動作としての基本打突（対人的技能Ⅰ）の習得 (1) 剣道具の着具 (2) 基本技能（しかけ技） ① 一本打ちの技 ② 連続技 ③ 引き技 (3) 応用技能（応じ技） ① 抜き技 ② すり上げ技				10回目までの内容の習得を到達目標として予習復習を行う。			
6	〃	〃				〃			
7	〃	〃				〃			
8	〃	〃				〃			
9	〃	〃				〃			
10	〃	〃				〃			
11	〃	3. 稽古（対人的技能Ⅱ） (1) 切り返し (2) 約束・打ち込み稽古 (3) 互格稽古 (4) 簡易的な試合と審判				15回目までの内容の習得を到達目標として予習復習を行う。			
12	〃	〃				〃			
13	〃	〃				〃			
14	〃	〃				〃			
15	〃	〃				授業ノートをまとめ、提出する。			
16	〃	学期末試験（実技試験）							